

読得 ヨミトク

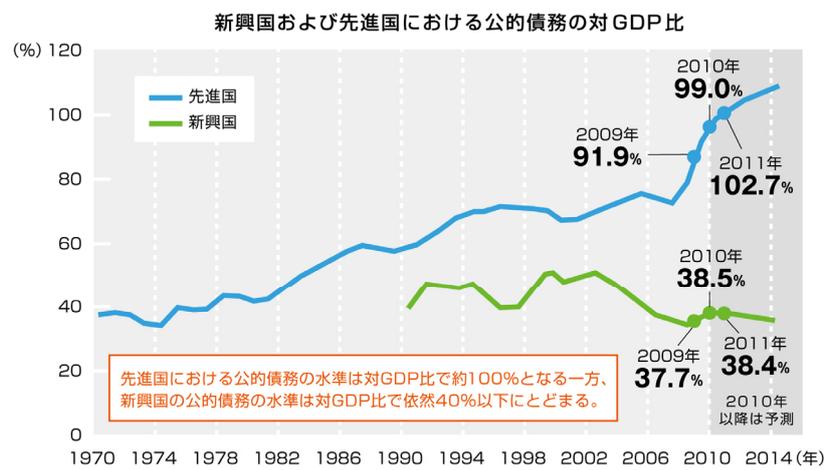
No.13

新興国の財政は健全なのか

ギリシャの財政危機をきっかけに、国の「財政問題」が注目を集めました。財政赤字が大きいなどの理由から、債務返済への懸念が高まると、国債が売られ、債券価格が下落（利回りは上昇）するほか、国外への資金流出に伴い通貨が急落することがあります。その結果、対外債務が膨らみ、国際機関などが財政を支援するために融資を実施することもあります。ギリシャの場合、IMF（国際通貨基金）やユーロ圏諸国がギリシャの自主的な財政再建を促しつつ、支援の枠組みを構築しました。

ところで、先進国と新興国の財政状況を比較するとどちらが健全なのでしょう。下記のグラフは国内総生産（GDP）に対する公的債務の比率を表しています。2009年を見てみると、先進国の公的債務がGDPと比べて92%の規模である一方、新興国の公的債務はGDP比で38%にとどまっています。2008年の金融危機以降、先進国が国債を発行し、公共投資や減税を実施するなど財政赤字を膨ませた結果、両者の差は拡大しました。

IMFは今後、GDP対比で先進国の債務の比率が高まる一方、新興国の債務の比率が低下（財政の健全化）することを予想しています。近年、新興国の中には、財政収支の黒字を達成する国が出てくるなど、全体で見ると先進国に比べて財政状態の健全性が高まっていることがうかがえます。



出所：IMF。公的債務はグロス。2009年の債務比率は推定値、2010年以降の債務比率は予測値。経済、市場等に関する予測は、高い不確実性を伴うものであり、大きく変動する可能性があります。弊社及び予測機関は、予測値の達成を保証するものではありません。

新興国の債券利回りを「グローバルマップ」でチェック www.gsam.co.jp



Asset Management

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を保証するものではありません。本資料は、弊社において入手した信頼できるとされる資料に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市場の見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合があります。本資料の一部または全部を、(I)複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、(II)弊社の書面による許可なく再配布することを禁じます。

© Copyright 2010, The Goldman Sachs Group, Inc. All rights reserved. <審査番号:TK10080001>